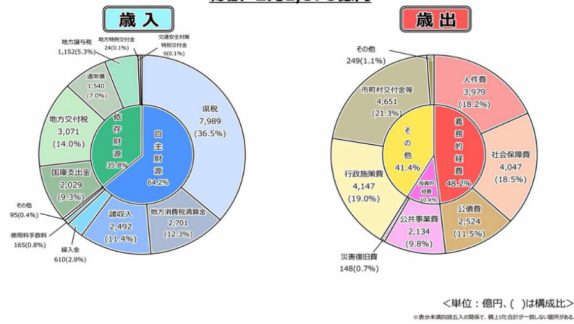


福岡県「2025年度予算」、「6月補正予算」を審議、可決しました。

令和7年度一般会計当初予算

総額 2兆1,878億円



福岡県「2025年度一般会計当初予算」歳入・歳出円グラフ

本年3月の県知事選挙のため、県予算は4月～7月までの間は暫定予算となっていました。そのため、『6月県議会』は予算議会となり、本予算の審議を行いました。審議の結果、本県の今年度予算を可決・成立しました。

福岡県の「2025年度一般会計」当初予算は対前年度比557億円、3%の増となる2兆1,878億円。そして、酷暑に対応する国の措置を踏まえ、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、LPガスを使用する県民・事業者、特別高圧を受電する事業者に対する光熱費の負担軽減を図るため「6月補正予算」16億500万円も可決しました。

令和7年度当初予算編成の考え方：未来への礎を築き、飛躍・発展する福岡県へ

- ・人を育て、人を惹きつけるまちをつくる
- ・産業を育て、はたらく場を広げる
- ・健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

【2025年度当初予算特徴的な歳入項目】

- ◆県税収入 +785億円(+7.9%)
 - ・企業業績の堅調な推移に伴う法人二税の増
- ◆地方交付税 +122億円(+4.1%)
 - ・地方財政計画において、地方交付税総額が増となったことに伴う増
- ◆県債 -83億円(▲5.1%)
 - ・通常債 +61億円(+4.2%) (県有施設の整備等による増)
 - ・臨時財政対策債 -144億円 (地方財政計画において、新規発行額がないことに伴う減)
- ◆収支均衡のための基金繰入金なし
- ◆地方交付税精算等のための基金繰入金305億円
- ◆その他 -354億円(-10.4%)
 - ・コロナ融資の返済進捗等に伴う償還金の減

【2025年度当初予算特徴的な歳出項目】

- ◆社会保障費 +208億円(+5.4%)
 - ・保育士の処遇改善等による保育給付費負担金の増 +76億円
 - ・高齢化の進展等による後期高齢者医療負担金の増 +49億円
- ◆行政施策費 -195億円(-4.5%)
 - ・コロナ融資の返済進捗に伴う預託金等の減 -590億円
 - ・緊急時に備えた融資枠の確保等に伴う預託金等の増 +215億円
 - ・小中学校の一人一台端末更新支援費の増 +61億円

福岡県「2025年度当初予算」右のQRコードからご覧ください。



福岡県「歴史あれこれ」：県営「東公園」に建つ『亀山上皇』像は「北条時宗、だった!？」

県営「東公園」の中心に立つのは、県民に馴染みの深い『亀山上皇像』です。しかし、当初の発案は「元寇記念碑」に騎乗の『北条時宗』が設えられる予定でした。このあたりの顛末が「福岡県議会史」に載っています。

1886(明治19)年、当時の安場知事と福岡警察署長・湯地丈雄とが意思を図り、「元寇記念碑」建設の基金を募り始めます。ところが、そのお金が議会对策名目で私消されてしまいました。

時は移り、1902(明治35)年10月、河島知事となります。ある日、日蓮宗・佐野前助僧侶が河島知事を訪ね「日蓮銅像建設許可」を願い出ます。これに河島知事が乗じ「安場時代、元寇記念神として騎乗の北条時宗像を建つべく金を集めたが、今は使い果して一文なし。日蓮宗を弾圧した鎌倉幕府の執権・北条時宗では日蓮信者も困るだろう。北条時宗の像から、元寇の役のときに国難を乗り切るため執政し、敵国降伏を祈願した亀山上皇の像に替えるので、日蓮の銅像を建てる金以外に、亀山上皇像の分まで金を集めて貰いたい。」ともちかけます。これを佐野氏は引き受け、宗祖・日蓮銅像を建てるお金以外に、上皇の分までお金を集めました。それで河島知事も面目躍如となり、陸軍省から貰った日露戦役戦利品を鋳潰して、立派な『亀山上皇銅像』を「東公園」に建てるのが出来ました。

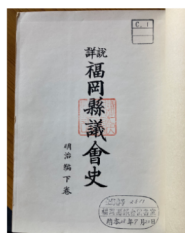
県営「東公園」は歴史の宝庫です。皆様も歴史探索されては如何でしょうか。(次号以降も連載していきます)



亀山上皇像



騎乗の北条時宗



福岡県議会史